
第1編
安曇野市の教育

【沿革】安曇野市教育委員会及び教育関係施設に関する主な出来事

平成17年度（2005年度）

- 10月 安曇野市発足。教育委員会事務局を明科総合支所内に置き業務を開始
- 10月 学校教育課、社会教育課、豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課の7課でスタート
- 12月 堀金小学校新校舎が完成、開校120周年記念誌発行
- 1月 穂高西部児童館が完成
- 1月 豊科南小学校大規模改造工事が完了
- 2月 穂高西小学校増築工事が完了
- 3月 明南小学校・明科中学校共用プールが完成

平成18年度（2006年度）

- 4月 フッ化物洗口が市内全保育園、幼稚園で始まる
- 7月 東京藝術大学音楽学部と中学校吹奏楽部との交流事業実施（H17年に穂高町で始まる）
- 10月 穂高西小学校で開校20周年記念式典を開催
- 1月 成人式を市内全体で初開催
- 3月 黒沢洞合自然公園が完成

平成19年度（2007年度）

- 6月 明北小学校プール、豊科南小学校プールが完成
- 7月 中部学校給食センター、南部学校給食センターが完成
（豊科学校給食センター、三郷学校給食センター、川手筑北学校給食センターを廃止し、2施設へ統合移転新築）

平成20年度（2008年度）

- 4月 学校給食課、文化課を新設。豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課を廃止
- 4月 三郷児童館が完成
- 5月 市内全小学校で放課後子ども教室（わいわいランド）が始まる
- 7月 堀金保育園新園舎が完成（移転新築）

平成21年度（2009年度）

- 4月 コミュニティスクールの先駆けとなる学校支援地域本部事業が始まる
- 5月 新設保育園として、有明あおぞら保育園が完成
- 9月 穂高交流学習センター「みらい」が完成
- 9月 有明の森保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 3月 明科北保育園新園舎が完成（現地建替え）

平成22年度（2010年度）

- 6月 観世流能楽師・青木道喜氏による市内小中学校「能楽教室」開催が10年目となる（H13年明科町で始まる）
- 7月 明南小学校で開校50周年記念式典を開催
- 7月 福岡県東区との青少年交流が20周年を迎える
- 7月 田淵行男記念館開館20周年事業として第3回田淵行男賞写真作品公募を実施（以後R7年度までに4回）
- 11月 明北小学校で開校50周年記念式典を開催
- 11月 穂高東中学校、穂高西中学校で開校10周年記念式典を開催
- 1月 豊科南部保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 2月 豊科交流学習センター「きぼう」が完成（熊井啓記念館を併設、熊井啓監督作品上映会を開始）
- 3月 堀金児童館が開館（旧堀金保育園舎を活用）

平成23年度（2011年度）

- 6月 小学生の放課後学習室が始まる
- 10月 豊科東小学校で開校30周年記念式典を開催
- 1月 安曇野検定（一般の部・ジュニアの部）を実施（H29年度まで）
- 2月 北部学校給食センターが完成（穂高学校給食センターを廃止して移転新築）

平成24年度（2012年度）

- 4月 子ども発達支援相談室を開所

- 8月 市内全中学校代表生徒を派遣する広島平和記念式典参加事業が始まる
- 9月 第1回そば猪口アート公募展を開催（以後、R3年度まで10回開催）
- 10月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅰ～オフネがつなぐ地域の輪～」を開催
- 12月 教育委員会事務局が旧明科公民館へ移転
- 12月 児童生徒の意見も取り入れ安曇野市「平和都市宣言」を制定
- 1月 「昔の暮らし体験教室」（合併前より開催）を豊科郷土博物館出前講座として市内全小学校で実施（以後継続）
- 1月 北穂高保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 2月 安曇野ミュージアム活性化事業の一環として「あづみの学校ミュージアム」が始まる

平成25年度（2013年度）

- 4月 早春賦誕生100周年を迎え各種イベントを開催
- 5月 清澤冽「暗黒日記」の原本が寄贈される
- 5月 「めえめえ児山羊」の作詞者・藤森秀夫を顕彰する童謡祭りが50周年を迎える
- 5月 図書館Web予約サービス開始
- 6月 県民豊科運動公園拡張整備工事が完了
- 7月 中学校で放課後英語授業、立志塾が始まる
- 8月 第1回「中学生議会」開催（まちづくり推進課担当）
- 9月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅱ～よろず願いごと引き受けます一道祖神～」を開催
- 9月 豊科近代美術館増築工事が完了
- 10月 学校給食に「中村屋カレー」が登場
- 12月 穂高東中学校大規模改造工事が完了
- 3月 豊科郷土博物館改修工事が完了
- 3月 『安曇野風土記』刊行始まる（以後R3年度まで4巻刊行）

平成26年度（2014年度）

- 4月 生涯学習課、図書館交流課を新設。社会教育課、学校給食課を廃止
- 4月 安曇野市スクールサポート事業が始まる
- 4月 安曇野高橋節郎記念美術館・豊科近代美術館で「生誕百年高橋節郎展」を開催
- 6月 高家スポーツ広場が完成
- 7月 三郷南部保育園新園舎が完成（移転新築）
- 7月 穂高幼稚園大規模改修工事が完了
- 10月 豊科南中学校、豊科北中学校で開校30周年記念式典開催
- 11月 『楽しく学ぼう！安曇野の郷科書～安曇野検定公式テキスト～』発刊
- 12月 フッ化物洗口が市内全小中学校で始まる
- 3月 中学生海外ホームステイ（オーストラリア）派遣事業が始まる（H30年度まで）
- 3月 穂高会館改修工事が完了

平成27年度（2015年度）

- 4月 市内初の「総合教育会議」を開催、安曇野市教育大綱（第一次）を策定
- 4月 市内小中学校の学校給食費の徴収方法を統一化
- 5月 安曇野市役所本庁舎開庁に伴い、教育委員会事務局が本庁舎へ移転
- 10月 市制施行10周年記念1/2成人式を開催（市内全小学4年生が安曇野市歌を歌い講演会を聴く）
- 11月 「新市立博物館構想」を策定

平成28年度（2016年度）

- 4月 教育支援センター「けやき」豊科公民館内に開設
- 6月 アルプス認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 6月 中学生の放課後学習室が始まる
- 7月 豊科郷土博物館・新市立博物館準備室「出前展示（コンパクト展示）」始まる
- 8月 豊科公民館ホールで初の信州安曇野能楽鑑賞会「安曇野能」を開催
- 9月 入学準備金貸付制度を創設
- 9月 中学生議会が教育委員会事務局担当となる（R5年度まで）

- 10月 1/2成人式記念「人権・平和特別授業～kizuki～」を開催（R2年度まで）
- 10月 穂高西小学校で開校30周年記念式典・堀金小学校で開校70周年記念講演会を開催
- 11月 拾ヶ堰が世界かんがい施設遺産に登録
- 11月 穂高南小学校で開校50周年記念式典を開催
- 3月 「安曇平のお船祭り」が国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財となる

平成29年度（2017年度）

- 4月 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76条）により、教育委員会事務局体制が新教育委員会体制に移行
- 4月 市の目指す子ども像として「からだを動かし・頭で考え・心で感ずる（臼井吉見氏の言葉）たくましい安曇野の子ども」を掲げステッカーを考案
- 4月 安曇野市コミュニティスクール（ACS）がスタート
- 4月 公立保育園18園の「認定こども園」としての運営が始まる。
- 7月 拾ヶ堰世界かんがい施設遺産登録記念式典で豊科南小学校児童が式典宣言を発表
- 9月 市内全中学校への電子黒板整備が完了し使用を開始
- 9月 クモ類研究者・千國安之輔氏ご遺族からの寄付金をもとに「ちくに生きものみらい基金」を創設
- 2月 市内の伝説10篇を収録した『つなぐー安曇野の伝説』を出版
- 3月 三郷交流学習センター「ゆりのき」が完成

平成30年度（2018年度）

- 4月 市内に居住し特別支援学校に在籍する児童生徒に副次的な学籍（副学籍）を置く制度が始まる
- 4月 小学校の教科「英語」導入に伴い“English day”を始める
- 4月 「ちくに生きものみらい基金」による自然観察会、美術館・博物館スクールプログラムが始まる
- 5月 三郷北部認定こども園新園舎が完成（移転新築）
- 7月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」策定
- 7月 豊科南小学校で開校50周年記念イベントを開催
- 10月 安曇野の自然や歴史、文化などを知るための講座「安曇野アカデミー」がスタート
- 10月 安曇野市文書館が開館
- 11月 安曇野市図書館キャラクター（穂高在住の絵本作家まるやまあやこ氏作成）の名前が「ぼぼん」に決定
- 3月 国重要文化財・曾根原家住宅保存修理事業が完了
- 3月 貞享義民記念館が『貞享騒動をたずねて』を刊行

平成31年度～令和元年度（2019年度）

- 4月 図書館交流課を廃止し、3課体制となる
- 5月 たつみ認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 8月 キャリア教育の一環として小学生夏休み企業見学を実施（R元年度まで）
- 11月 穂高北小学校、三郷小学校で開校50周年記念式典を開催
- 12月 教育委員協議会を設置し、活力ある学校のあり方について検討が始まる
- 1月 小中学校の普通教室にエアコン設置が完了
- 2月 豊科南小学校が第20回環境美化教育優良校等表彰で最優秀校・環境大臣賞を受賞
- 3月 新型コロナウイルス感染症拡大により、国の要請を受け市内全小中学校の一斉臨時休業を実施
- 3月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」一部改正

令和2年度（2020年度）

- 4月 目指す子ども像のステッカーのデザインを改訂
- 4月 再び臨時休業を実施（9日～5月20日）
- 4月 明科南認定こども園新園舎が完成（移転新築）
- 5月 分散登校を経て（11日～20日）通常登校再開（21日～）
- 7月 安曇野市誌編さん事業が始まる（民俗編から）
- 8月 「満願寺の古文書」を市有形文化財に指定
- 9月 交通事故^{ゼロ}プロジェクトが始まる
- 11月 電子黒板が小学校全クラスに常設となる

- 2月 1/2成人記念「人権・平和特別授業～kizuki～」の代替として人権学習リーフレット「おもしろ」を作成
- 2月 『安曇野ミュージアム活性化事業10年のあゆみ』を刊行
- 3月 穂高東中学校、穂高西中学校が開校20周年記念誌を発刊

令和3年度（2021年度）

- 4月 「拾ヶ堰絵図」が発見される
- 4月 東京2020オリンピック聖火リレーが安曇野市を通過、小中学生も沿道応援に参加する
- 4月 「お弁当の日」を全小中学校が導入し本格的に実施
- 5月 国のGIGAスクール構想による1人1台端末の配備が完了
- 7月 あづみの新進音楽家公開オーディション（ジュニアの部を含む）が10周年を迎える
- 9月 市営穂高プールが33年の歴史に幕を閉じる
- 10月 豊科北小学校で開校50周年記念式典を1年遅れで開催
- 10月 安曇野市総合体育館（ANCアリーナ）が完成
- 1月 豊科南小学校がユネスコスクール・キャンディデート校に認定される
- 2月 臼井吉見文学館が開館30周年を迎え記念誌『邂逅』を出版
- 3月 「安曇野のオオルリシジミ」を市天然記念物に指定
- 3月 穂高北部児童館が完成（移転新築）
- 3月 「安曇野市立小・中学校の将来構想」を策定する

令和4年度（2022年度）

- 4月 学校給食課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課を新設し、6課体制となる
- 4月 市の目指す子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」に改訂しステッカーのデザインを刷新
- 4月 市内17小中学校が学校運営協議会による国型コミュニティー・スクールに移行
- 4月 学校給食費会計が公会計に移行
- 4月 明科北認定こども園の民間委託による運営が始まる
- 4月 有明あおぞら認定こども園で「園庭ミニ田んぼ」を整備し米づくりの活動が始まる
- 4月 第8回日展巡回展「安曇野展」を豊科近代美術館で開催、市内全中学校2年生が鑑賞
- 4月 文書館が市内中学校での出前講座を始める
- 7月 東京藝術大学連携事業「安曇野AIR（アーティスト・イン・レジデンス）」が始まる
- 9月 被爆ピアノ平和祈念コンサートを開催（R6年度までに市内全中学校で実施）
- 1月 成人式の名称を変更して「二十歳の集い」として初開催
- 1月 友好都市との青少年交流事業が3年ぶりに再開

令和5年度（2023年度）

- 4月 第3次「安曇野市教育大綱」が始まる
- 5月 京都芸術大学と連携したアートプロジェクトが始まる
- 7月 三郷西部認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 7月 広島平和記念式典参加事業に松本大学平和創造研究会の学生が加わる
- 8月 信州安曇野薪能を8年ぶりに明科龍門湖公園で開催
- 10月 安曇野アカデミーで臼井吉見の小説「安曇野」をテーマに5回講座を開催
- 1月 県教育委員会主催第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会開催
- 3月 認定こども園・幼稚園の園庭芝生化へ向け三郷西部認定こども園で芝の種まきを実施
- 3月 安曇野の歴史文化遺産再発見事業実行委員会編の「宝シリーズ」（全5巻）刊行完了

令和6年度（2024年度）

- 4月 市内中間教室を「多様な学び学習室」に、登校支援員を自立支援員に名称を変更
- 4月 第41回早春賦まつりに市内小学校合唱部が参加
- 4月 三郷西部認定こども園の民間委託による運営が始まる
- 5月 第20回あづみの公園早春賦音楽祭に市内小中学生が参加
- 6月 「清澤源文庫」を市有形文化財に指定
- 7月 第1回安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会を開催
- 7月 第1回安曇野市こども計画検討会議を開催

- 7月 ワークショップ「安曇野市子ども若者意見ひろば」を開催
- 7月 三郷西部認定こども園で芝生園庭使い始め式を実施（市立認定こども園・幼稚園全園の園庭芝生化事業）
- 10月 第1回安曇野市中学生キャリアフェスティバルを開催
- 1月 堀金学校給食センターの設備更新工事が完了
- 3月 第1次安曇野市教育振興基本計画を策定
- 3月 安曇野市こども計画を策定
- 3月 第3次安曇野市子ども・子育て支援事業計画を策定

令和7年度（2025年度）

- 4月 明南小学校、明北小学校、明科中学校の3校が県教育委員会からウェルビーイング実践校TOCO-TONに指定される
- 4月 豊科近代美術館が安曇野市美術館に名称変更
- 6月 穂高鐘の鳴る丘集会所が創作活動もできる施設としてリニューアルオープン
- 8月 三郷東部認定こども園新園舎が完成（移転新築）
- 8月 戦後80年平和事業企画展「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」を豊科郷土博物館で実施
- 8月 第7回田淵行男賞公募作品展にて中学生以下のジュニア賞受賞作を初めて展示
- 8月 第34回信州安曇野薪能を実施。新作能「犀龍小太郎」を上演
- 8月 安曇野市美術館大規模改修工事完了記念として、多摩美術大学と連携し、あづみ野ガラス工房40周年記念展を開催
- 9月 熊井啓顕彰事業として奥田瑛二氏、安藤和津氏によるトークショーを開催（予定）
- 9月 豊科中央児童館が完成（現地建替え）（予定）
- 9月 市制施行20周年を記念し「未来の安曇野市」をテーマに作文コンクールを実施（予定）

基本理念

●すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかけこみ高い安曇野を目指します。
 ●からだを動かし、頭で考え、心に感ずる。未来を拓くたくましい安曇野の子どもを育みます。

現状と課題

これまで安曇野市は「教育大綱」に基づき、教育に関する幅広い分野で、それぞれ計画を策定してきました。今回は、これらを統合し、安曇野市の教育行政の方向性を明確にすることにしました。

基本方針

施策目標

1【子ども・子育て】

子ども・若者が健やかに成長し、安心して暮らせるまちの実現

- 1 地域資源を活かした質の高い教育・保育の提供
- 2 困難を有する子ども、若者、家庭への支援

2【学校教育】

郷土愛と未来を切り拓く力を育む魅力ある学校教育の実現

- 1 協働的・探究的な学びの充実
- 2 郷土への愛着と誇りを育む学びの充実
- 3 健やかな心身と豊かな心の育成
- 4 きめ細かな教育・支援の充実
- 5 安全・安心な教育環境の整備

3【家庭・地域との連携】

学校と家庭、地域等との連携による豊かな学びと心の育成の実現

- 1 学校と家庭、地域の連携による教育体制の整備
- 2 地域で子どもの成長を支える仕組みづくり
- 3 地域全体で子どもの権利の共有

4【生涯学習】

生涯を通じ学ぶ喜びを実感できる地域の実現

- 1 学習機会の充実
- 2 学習成果の活用
- 3 多様化する市民の「学び」に応える質の高い図書館づくり
- 4 子どもの読書活動の推進（安曇野市子ども読書活動推進計画）

5【スポーツ】

スポーツを通じて心や体を健やかに育む地域の実現

- 1 子どもの運動・スポーツ機会の充実
- 2 スポーツを通じた交流・学びの促進

6【文化芸術】

文化芸術を育むとともに歴史・文化遺産を継承し続ける地域の実現

- 1 文化芸術活動の推進
- 2 歴史・文化遺産の保存と活用

計画 の ねらい

- 本市の教育の目指すべき姿と方向性、事業の進め方などを明らかにするため、教育・子育て分野のマスタープランとして「第1次安曇野市教育振興基本計画」を策定します(計画期間:令和7(2025)年度~令和10(2028)年度)。
- この計画は、教育分野において本市総合計画に次ぐものとして、教育委員会の所管事務全般を統括して管理するものと位置付けます。なお、地方教育行政法第1条の3の教育大綱を兼ねるものとしします。

具体的な取組のご紹介

公立認定こども園・幼稚園のあづみの自然保育

安曇野市の豊かな自然環境と地域資源に触れ、子どもたちが自分らしく、のびのびと成長する姿を見守り支える「あづみの自然保育」を推進していきます。

→計画本編19ページをご覧ください



安曇野市中学生キャリアフェスティバル

市内の中学1年生が、地元にある企業などを知り、そこで働く大人の姿や考えに触れる機会として、令和6(2024)年10月に第1回を行いました。自らの生き方や働く意味を考える時間とするとともに、地域の大人とのつながりを通じて郷土への愛着や誇りを育てることを目指し、今後も「安曇野市中学生キャリアフェスティバル」をさらに充実したものとしていきます。

→計画本編30ページをご覧ください



アーティスト・イン・レジデンスの推進

東京芸術大学の学生などが安曇野市に一定期間滞在して、創作活動や市民との交流を行うアーティスト・イン・レジデンスを推進するため、拠点となる施設の整備や活動の支援を行います。

→計画本編65ページをご覧ください



1 市理事者

(令和7年4月1日現在)

役職名	氏名	任期
市長	太田 寛	令和 3年10月23日 ~ 令和7年10月22日
副市長	中山 栄樹	令和 4年 1月 1日 ~ 令和7年12月31日
教育長	橋渡 勝也	令和 5年 4月 1日 ~ 令和8年 3月31日

2 教育委員

(令和7年4月1日現在)

役職名	氏名	教育委員任期
教育長職務代理者	遠藤 正志	令和 5年 4月 1日 ~ 令和7年11月 8日
委員	羽田野 賢二	令和 3年11月 9日 ~ 令和7年11月 8日
委員	川北 久美	令和 5年11月 9日 ~ 令和9年11月 8日
委員	金子 孝	令和 6年11月 9日 ~ 令和10年11月 8日

3 安曇野市議会福祉教育委員会

(令和7年4月1日現在)

役職名	氏名	
委員長	増田 望三郎	
副委員長	岡村 典明	
委員	矢澤 毅彦	臼井 泰彦
	中村 今朝子	平林 明

解説1 “たくましい安曇野の子ども”ステッカー（リニューアル版）

安曇野市教育委員会は平成29年度より“たくましい安曇野の子ども”の育成を目指すことを表明し、ステッカーを作成しました。

令和4年4月1日からは、めざす子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」と改めました。さらに、小・中学校に加え、こども園・幼稚園を所管することになったことを受け、園児・小学生・中学生を、北アルプスの高山に生息する希少鳥類ライチョウに見立てて、安曇野市の宝である子どもたちが健やかに成長してほしいという願いを込め、デザインを一新しました。

なお、「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野が生んだ評論家・作家で教育者でもあった臼井吉見さん（1905-1987）が、中学生に向けて行った講演「中学生諸君に望む」（1967）の中で語った言葉です。

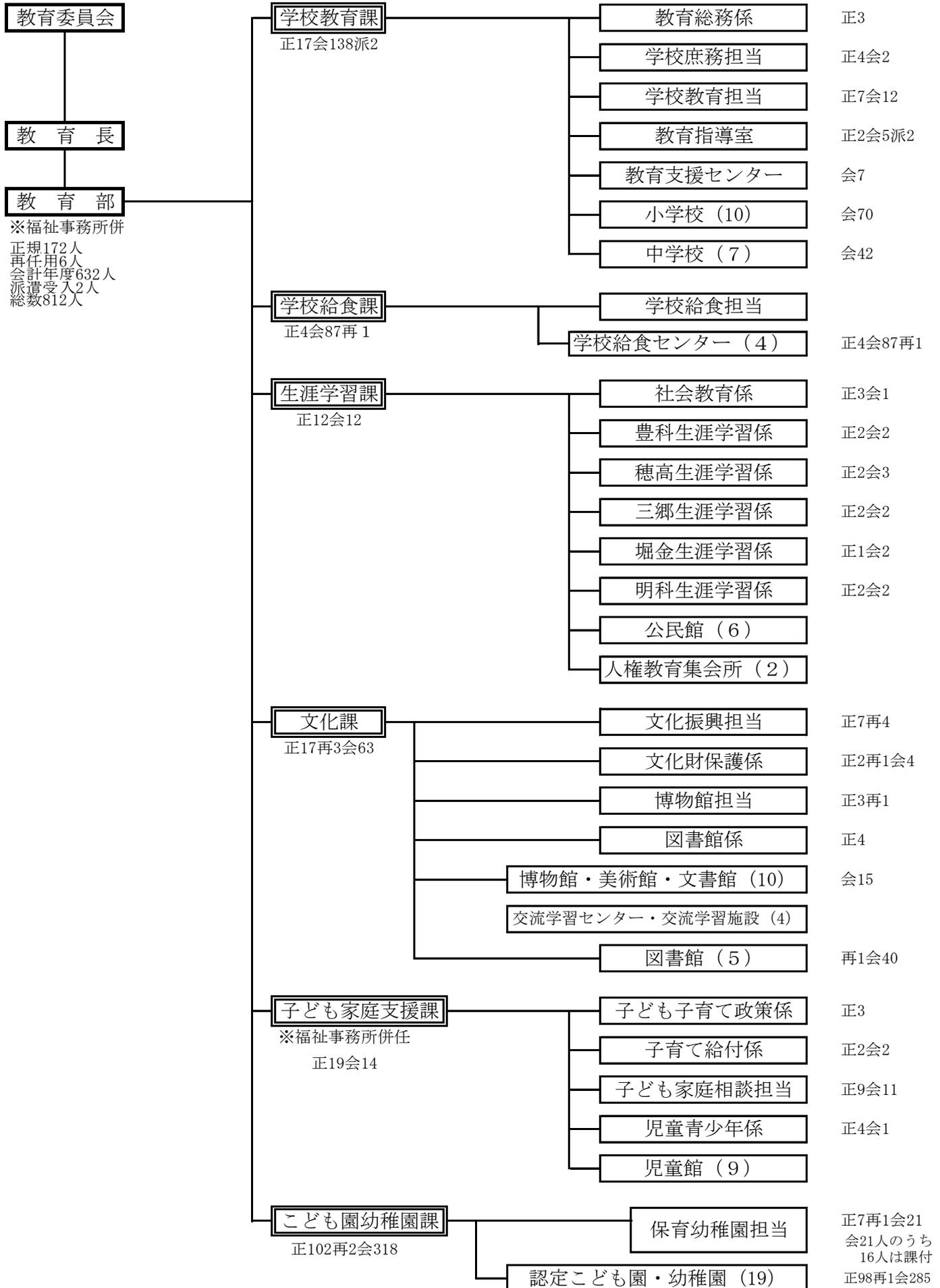
(令和4年4月)



4 教育委員会事務局の組織

令和7年4月1日現在

正規:再任用:会計年度:派遣受入



5 教育委員会事務局の仕事と担当課

学校教育課

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育振興基本計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (3) 教育委員会の条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (5) 教育委員会に対する請願及び陳情に関すること。
- (6) 事務局及び学校その他の教育機関等の職員（県費負担教職員を除く。）の任免、給与及び服務等に関すること。
- (7) 県費負担教職員の任免、給与、服務及び福利厚生に関すること。
- (8) 公印の管理に関すること。
- (9) 文書の収受、発送、整理及び保管に関すること。
- (10) 学校教育の振興に関すること。
- (11) 就学、入学及び転退学に関すること。
- (12) 学校保健に関すること。
- (13) 通学区域、通学路及びスクールバスに関すること。
- (14) 就学援助、就学奨励その他育英奨学に関すること。
- (15) 教育用図書配布に関すること。
- (16) 教育施設の維持管理に関すること。
- (17) 部内の予算及び実施計画の調整に関すること。
- (18) 部内の事務事業の進行管理及び管理改善の調整に関すること。
- (19) 部内の企画調整及び庶務に関すること。
- (20) 所管する附属施設に関すること。
- (21) その他部内の他課に属さないこと。

学校給食課

- (1) 学校給食の運営に関すること。
- (2) 学校給食施設の維持管理に関すること。
- (3) 学校給食費に関すること。
- (4) 所管する附属施設に関すること。

生涯学習課

- (1) 生涯学習推進計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (2) 社会教育事業に関すること。
- (3) 生涯学習推進に関すること。
- (4) 二十歳の集いの運営に関すること。
- (5) 中央公民館事業に関すること。
- (6) 安曇野市地区公民館活動補助金交付規則（平成 27 年安曇野市規則第 23 号）第 2 条に規定する地区公民館支援に関すること。
- (7) 人権教育に関すること。

- (8) 公民館施設の管理運営に関する事。
- (9) 公民館講座等の開催に関する事。
- (10) 公民館体育大会に関する事。
- (11) 文化祭開催に関する事。
- (12) 地域づくり事業等の支援に関する事。
- (13) 学校施設使用に関する事。
- (14) その他地域の社会教育及び社会体育の推進に関する事。
- (15) 所管する附属施設に関する事。

文化課

- (1) 文化振興計画の策定及び進捗管理に関する事。
- (2) 文化芸術の振興に関する事。
- (3) 文化財の保護、保存及び活用に関する事。
- (4) 市誌編さんに関する事。
- (5) 歴史的価値がある公文書に関する事。
- (6) 図書館基本計画の策定及び進捗管理に関する事。
- (7) 図書館活動の企画及び調査に関する事。
- (8) 関連団体との連絡調整に関する事。
- (9) 新市立博物館建設に関する事。
- (10) 資料等の保存及び活用に関する事。
- (11) 所管する附属施設に関する事。

子ども家庭支援課

- (1) 子どもに関する施策の調査研究及び総合調整に関する事。
- (2) 子どもの権利に関する事。
- (3) こども計画及び子ども・子育て支援事業計画の策定及び進捗管理に関する事。
- (4) 子ども・子育て会議に関する事。
- (5) 児童館の管理運営に関する事。
- (6) 児童クラブに関する事。
- (7) 児童手当、児童扶養手当等に関する事。
- (8) 児童遊園に関する事。
- (9) ファミリー・サポート・センター事業に関する事。
- (10) ひとり親家庭の支援に関する事（相談に関する事を除く。）。
- (11) 児童福祉施設等の整備等に関する事。
- (12) 教育相談に関する事。
- (13) 子ども及び若者育成支援に関する事。
- (14) 家庭教育支援に関する事。
- (15) 青少年育成に関する事。
- (16) 放課後子ども総合プランに関する事。
- (18) ひきこもり支援に関する事。
- (19) 所管する附属施設に関する事。

こども園幼稚園課

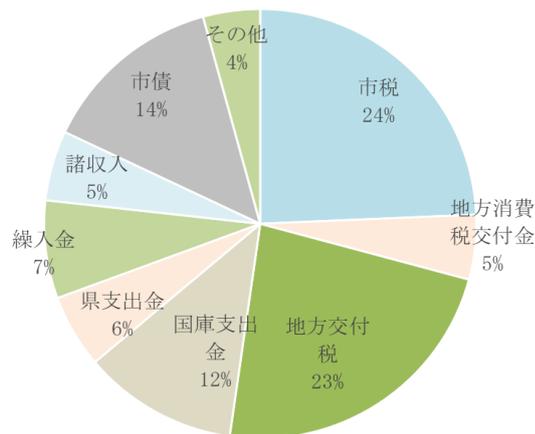
- (1) 幼児期の教育及び保育に関すること。
- (2) 公立認定こども園の管理及び運営に関すること。
- (3) 穂高幼稚園の管理及び運営に関すること。
- (4) 民間保育所及び幼稚園に関すること。
- (5) 保育関係団体に関すること。
- (6) 所管する附属施設に関すること。

その他 参考例規

- (1) 安曇野市教育委員会に対する事務委任規則 (令和4年安曇野市規則第8号)
- (2) 市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程 (平成18年安曇野市訓令第14号)
- (3) 安曇野市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程 (平成20年安曇野市教育委員会訓令第4号)

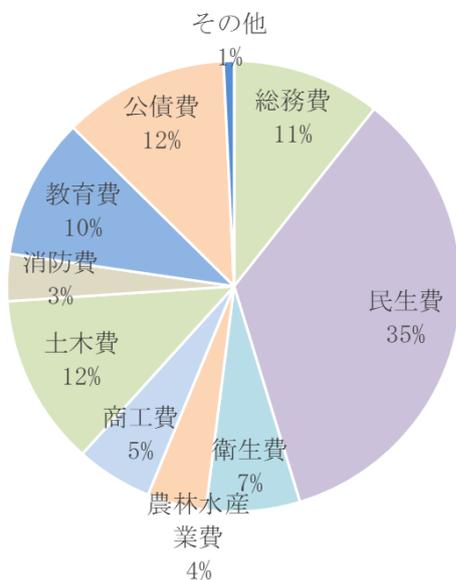
6 一般会計予算 (令和7年度当初)

(1) 歳入予算総額 50,250,000千円



市税	12,223,373 千円
地方消費税交付金	2,440,000 千円
地方交付税	11,600,000 千円
国庫支出金	5,828,883 千円
県支出金	2,771,975 千円
繰入金	3,706,236 千円
諸収入	2,647,337 千円
市債	6,889,300 千円
その他	2,142,896 千円

(2) 歳出予算総額 50,250,000千円



総務費	5,316,588 千円
民生費	17,455,440 千円
衛生費	3,357,906 千円
農林水産業費	2,108,932 千円
商工費	2,740,493 千円
土木費	6,173,707 千円
消防費	1,695,744 千円
教育費	5,092,920 千円
公債費	5,931,606 千円
その他	376,664 千円

7 教育部関係歳出予算

(1) 教育費 ※教育部関係のみ

(単位:千円)

項	目	令和6年度	令和7年度	比較増減	令和7年度の財源内訳	
					特定財源	一般財源
1	教育総務費	2,181,669	1,908,834	272,835	610,712	1,298,122
	1 教育委員会費	11,086	5,821	△ 5,265	0	5,821
	2 事務局費	760,875	830,962	70,087	75,172	755,790
	3 住宅管理費	5,462	3,012	△ 2,450	3,012	0
	4 給食センター費	1,404,246	1,069,039	△ 335,207	532,528	536,511
2	小学校費	1,199,973	542,569	△ 657,404	45,166	497,403
	1 学校管理費	400,785	389,247	△ 11,538	85	389,162
	2 教育振興費	103,225	93,113	△ 10,112	35,081	58,032
	3 学校施設整備費	695,963	60,209	△ 635,754	10,000	50,209
3	中学校費	418,724	418,958	234	44,432	374,526
	1 学校管理費	254,068	269,636	15,568	155	269,481
	2 教育振興費	117,244	92,559	△ 24,685	34,277	58,282
	3 学校施設整備費	47,412	56,763	9,351	10,000	46,763
4	幼稚園費	108,178	136,366	28,188	31,975	104,391
	1 幼稚園費	108,178	136,366	28,188	31,975	104,391
5	社会教育費	2,497,683	1,828,138	△ 669,545	737,675	1,090,463
	1 社会教育総務費	1,431,507	1,105,968	△ 325,539	490,283	615,685
	2 文化財保護費	82,274	86,735	4,461	19,558	67,177
	3 人権教育推進費	3,053	7,641	4,588	50	7,591
	4 青少年健全育成費	106,652	235,056	128,404	192,176	42,880
	5 公民館費	686,758	192,835	△ 493,923	7,638	185,197
	6 図書館費	187,439	199,903	12,464	27,970	171,933
	小計	6,406,227	4,834,865	1,571,362	1,469,960	3,364,905

(2) 民生費 ※教育部関係のみ

(単位：千円)

項	目	令和6年度	令和7年度	比較増減	令和7年度の財源内訳	
					特定財源	一般財源
1	社会福祉費	43,155	38,602	4,553	12,632	25,970
	1 社会福祉総務費	43,155	38,602	△ 4,553	12,632	25,970
2	児童福祉費	6,390,725	7,842,997	1,452,272	4,340,149	3,502,848
	1 児童福祉総務費	1,960,482	2,397,119	436,637	1,813,851	583,268
	2 児童館費	591,901	611,408	19,507	329,134	282,274
	3 保育所費	3,838,342	4,834,470	996,128	2,197,164	2,637,306
	小計	6,433,880	7,881,599	1,447,719	4,352,781	3,528,818

(3) 教育部関係予算合計

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	比較増減	令和7年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
合計	12,840,107	12,716,464	123,643	5,822,741	6,893,723

8 歳出予算額と歳出決算額の推移 ※

(単位：千円)

年度	歳出予算額（当初）			歳出予算額（最終補正額）		
	一般会計	教育部関係	対一般会計比（%）	一般会計	教育部関係	対一般会計比（%）
令和3年度	41,100,000	3,852,929	9.4	52,117,118	3,785,378	7.3
令和4年度	42,670,000	9,289,815	21.8	49,614,214	8,872,484	17.9
令和5年度	45,650,000	12,146,102	26.6	51,697,793	13,979,992	27.0
歳出決算額						
年度	一般会計	教育部関係	対一般会計比（%）			
令和3年度	48,838,393	3,666,810	7.5			
令和4年度	46,639,767	8,687,886	18.6			
令和5年度	49,287,217	8,227,679	16.7			

※ 歳出予算額と歳出決算額の推移について
網掛けの部分は、旧組織体制のため、現在のスポーツ推進課の予算を含み、現在のこども園幼稚園課・子ども家庭支援課の予算を含みません。